

発行所 日本キリスト教団 なか伝道所
〒231-0026 横浜市中区寿町3-10-13 金岡ビル 305
Tel. (045) 671-1109
振替 00200 - 1 - 47369
E-Mail : nakachurch.welcome@gmail.com HP : w01.tp1.jp/~ja66945502/
発行者 石倉夕子 (題字 松橋 順)

宣教方針
① 貧しい人々への福音に共にあずかる。
② 地域の問題に関わる。
③ 諸教会に呼びかけてゆく。
集会 主日礼拝 日曜日 午前10時30分より

サンパウロ駆け出し報告

小笠原 公子さん・小笠原 敦輔さん



パウリスタ大通りでのデモの様子

なか伝道所の最初期からのメンバーである小笠原公子さん・敦輔さんは、昨年より敦輔さんの仕事の関係で、ブラジル・サンパウロで生活している。五月に一時帰国したお二人に、現地での生活の様子や、日々の生活のなかで感じたことなどをうかがった。

ブラジルの基礎データ
公用語 ポルトガル語
首都 ブラジリア
行政区分 二六の州 (Estado、エスタード) と一つの連邦直轄区 (ブラジリア)
人口 一億九八三〇万人 (二〇一三年、世界第五位)
面積 八五二万km² (世界第五位)
GDP 二兆二四二九億ドル (二〇一三年、世界第七位)

ブラジルの実情は？

ブラジルは、面積が日本の二〇倍以上あり、そこに約二億人が暮らしています。平均年齢も三〇歳と若い。そして、アマゾンの水資源や鉄鉱石などの鉱物資源に恵まれています。このように、国として潜在力があるのだから、バランスの取れた施策を実施すれば、中長期的には成長できるはずだとみんなが言っています。しかし、現状は経済が停滞しています。

理由の一つには、治安の悪さがあります。人口一〇万人当たりの犯罪発生率は、日本の数十倍から数百倍にのぼっています。激しい貧富の差を背景に、若年層の犯罪率が高いことが深刻な社会問題になっています。若い人たちに教育と就労の機会を与える必要がありますが、一定水準以上の経済力がないと高等教育を受けられない、高等教育を受けた人は就職後もビジネススクールに通い自身のキャリアアップのために学ぶ、といった事情があるため、実際は格差がますます広がってしまっています。

私たちが住むサンパウロの人口は千二百万人で、そのうち日系人は約百万人にのぼり、存在感を持っています。日本人駐在員とその家族は三千人ほどいますが、職場に近い、買物に便利などの理由から、町いちばんの目抜き通りであるパウリスタ大通りの近くに居住しています。サンパウロも非常に治安が悪く、特に夜間は注意が必要です。住んで間もない私たちはアパー

トに帰ってはじめてホッとでき、外ではいつも気を張っているという感じでした。

私たちは、小井沼両牧師が務められていたサンパウロ福音教会に通っています。ここでは日系二世の佐久間サムエル牧師により、日本語による礼拝が守られています。小井沼真樹子牧師のときに始まったお年寄りのためのデイケア・ボランティア「シヤローム」は継続中とのこと。働きがちながっていることを感じます。

いま、私たちが特に力を入れているのは、ポルトガル語の習得です。男性・女性名詞や単数・複数の区別、英語とは異なる発音ルール……。一〇近くもある動詞の変化についてこうして説明していると、それだけで頭がガンガンしてきます(笑)。でも、第二外国語の教育が未整備なので、幅広い階層の人と話すためには、どうしてもポルトガル語を身につける必要があります。こうしたところにも、貧富の差や教育問題が影を落としているのです。

抵抗の文化

ブラジルには多民族・多文化の歴史があります。十六世紀初めにポルトガルが「発見」した時、ブラジルには「インディオ」と呼ばれる先住民が暮らしていました。植民地化後は、木材貿易やサトウキビ栽培、金鉱の採掘のためにやがて奴隷化されました。十八世紀中頃からは、さらにコーヒー栽培の労働力として、初期にはアフリカからの奴隷を、その後は日本を含む世界各地からの移民を受け入れました。現在の

多民族多文化国家は歴史の投影です。一方、帝政から共和制、そして民主制への流れのなかで、インディオや奴隷による抵抗や反乱はその都度鎮圧されましたが、現在の豊かな文化の基になっているとも言えます。

一九六〇年代の軍政下では、民衆による抵抗運動が大きな盛り上がりを見せました。そして現在は、W杯やオリンピックなどの国家的イベントのため、ファベラ(貧しい人たちの居住地域)の掃討作戦が展開されています。このように、ブラジルではさまざまな権力に晒されながら、多層的で多様な文化が育まれてきたのです。

サンパウロの街を歩いていて目を引いたのが、「グラフィティ」と呼ばれる落書きです。政治や社会への不満や風刺を描くこと自体はもちろんです。当局に消されて



グラフィティ「教育はすべての人にとって基本的な資格だ！ 飢えと貧困をなくそう！」

も、何度でも書き直すという行為も、一種の抵抗運動だったわけですね。ブラジルではこのグラフィティだけでなく、お馴染みのサンバの音楽や演劇などさまざまな形態をとりながら、口伝えの詩文(コデイロ)に民衆の思いを乗せて、抵抗の文化が語られ、それが生活に根付いていると感じます。ブラジルの人たちはしゃべりがうまくて人が良く、とにかくノリがいい。一方、ダメと思うものに対して遠慮はありません。まあ、あまりにもいろんなことが混沌としていて、チグハグな印象を受けることも多いのですが。

地球の裏側から見た「なか伝」

「なか伝」は私たちの原点であると改めて感じます。自分たちのアイデンティティを作った場所であり、人の話をよく聞いて違いを認め合うことや、小さくされた人の痛みを感じることを学び、人間として鍛えられました。そのことが、ブラジル社会と向き合うときにも生きています。一二時間時差はあるけれど、私たちがいたときと変わらず礼拝が守られているのだと思うと安心します。例えば、「なか伝」にも混沌としたところがなくはない(笑)。牧師の言葉をただありがたく聞いているのではなく、メンバーひとりひとりがパワーを持つているという意味です。みなさんがそれぞれの持ち場でチャレンジしている姿を思い浮かべると力が湧いてきます。これからは、チャンスがあれば、私たちがブラジルで経験したことを、少しでも「なか伝」

にお返ししていけたらと思っています。



屋台は安くて美味しいです。

これから目指すこと

なかなかハードルは高いですが、ポルトガル語を勉強して、ブラジルの人たちとコミュニケーションできるようにしたいと思っています。また、ニュースなどの情報を自分の手でできるだけ集めたいと考えています。観光だけでない目的でブラジルの町を訪問し、人と出会いたいとも思っています。

そして、せっかくブラジルで暮らす機会を得たので、自分なりのテーマを決め、それに向けて一步一步踏み出していきたいです。もちろん、治安の問題があるので、無理をしない範囲ですが・・・

(まとめ 幸前元)

風景

ローチが出来るか？

大学には白杖を使う人たちが何人かいて、その子たちが大学の近くのバス停から降りたら、必ず登校中の大学の子たちが腕を差し出す。知り合いとかはあんまり関係ない。つまりこういうことじゃないのかなと思うけど、実際は…。でもそこで社会とか格差とかいう言葉を使うと難しくなるから、大きく考えたい。「今できることはなんだろう」。音がない世界で相手が何を言っているのか分からないとき、相手が笑顔になるだけで安心する。(3ページに続く)

使信ししん

死よりも、買よりも、苦い女

石倉夕子

わたしはこういうことをすべて／知恵を尽くして試してみた。賢者でありたいと思っただが／それはわたしから遠いことであつた。

存在したことは、はるかに遠く／その深い深いところを誰が見いだせようか。

わたしは熱心に知識を求め／知恵と結論を追求し／悪は愚行、愚行は狂気であることを／悟ろうとした。

わたしの見いだしたところでは／死よりも、買よりも、苦い女がある。その心は網、その手は柳。神に善人と認められた人は彼女を免れるが／一步誤れば、そのとりことなる。見よ、これがわたしの見いだしたところ／

——コヘレトの言葉——／ひとつひとつ調べ見いだした結論。

わたしの魂はなお尋ね求めて見いださなかつた。千人に一人という男はいたが／千人に一人として、良い女は見いださなかつた。

ただし見よ、見いだしたことがある。神は人間をまっすぐに造られたが／人間は複雑な考え方をしたがる、ということ。

(コヘレトの言葉七章二十三～二十九節)

死よりも苦い女!

コヘレトの言葉の著者であるコヘレトは、知恵を探し求めています。

二二三～二四節はそれがとても難しいということをコヘレトは実感しています。しかし彼は二五節のように探求し続けるのです。そしてコヘレトは二六節「死よりも、買よりも、苦い女がある」と見出します。女性にとつてはとても不快な言葉です。死は人間にとつて最もつらい出来事のはずです。それなのにコヘレトは「女」はその死よりも苦いと言っているので、

「女」はその死よりも苦いと言っているので、

「女」はその死よりも苦いと言っているので、

ある日、某刑事ドラマの

心理的ショックで記憶喪失になる話を見て一言

「算数の授業が難しいから、算数の時間にいつも「心理的ショック」を受けるんだよ。そしたら記憶がなくなるから、おぼえられないんだよ……。」

(算数なんか大嫌い 遠藤友実 一一歳)

す。コヘレトは女性がなぜ死より苦いのか、なぜ危険なのか、買との比較を用いて説明しています。女性の心は魚をとらえる網のようで、いったん捕まるとそこから抜けられない。そして女性の両腕は囚人を縛る鎖のようだというのです。そして女性は神に善人と認められなかつた人(人＝男性)すなわち罪ある男への罰だということです。この箇所は女性にとつてはとても我慢できないところだと思えます。事実一五世紀の魔女狩りにおける異端審問官のマニユアルに魔女とされた女性の拷問を正当化するために引用されたそうです。

社会通念としての女性観

人々が思っていることかもしれません) いわゆる「社会通念」です。コヘレト特有の論法で、まず伝統的な知恵を引用し、次にそれを批判し、そしてコヘレトが良いと信じていることを提示するのです。ここでもそのような形をとっていると思われまふ。コヘレトがあえて見出すまでもなく、古代から様々な民族や集団の中で「女性は男性より劣るもの、汚れたもの」とされてきた歴史があります。あえてイスラエルの歴史をひもとくまでもなく、(4ページに続く)



(風景続き)「車椅子いいですか?」ってお店の人に聞いたとき、「全然いいですよー!」って歓迎されるとすごく嬉しくなる。どんな気遣いにせよ笑顔で明るく対応されるだけで、人って幸せになれるもんだなあって。幸せなんて環境とか周囲じゃなく所詮気分的な問題なんだから、大きく問題の根本解決とか話し合うのもいいけど、取りあえず笑顔で対応することから始めたい。だって人って目の前の人が笑ったら笑っちゃうもんだと思うから。(渡部彩花)

私たちの歴史をひもとくと一目瞭然で
す。

聖書にもイスラエルの女性の歴史が、
男性中心のその歴史の中で、逆に手に取
るように、文字にならない言葉であふれ
ています。

原初イスラエルの女性は、社会の一部
を男性と同じようになっていたようで
す。デボラや、エステル、ミリアムなど
です。しかし王政が確立するにつれて、
女性には世継ぎを生むこと、母となるこ
とというはつきりとしたジェンダー（社
会的性の役割）が押し付けられていくの
です。さらに捕囚後は、女性の身体の生

です。さらに捕囚後は、女性の身体の生
活的状況だけでなく、振る舞いまでも
管理する律法や規則を強化するのです。
そんな中で女性は男性よりも劣り、不浄
であるとされていくのです。家父長制の
中、裏返せば女性への恐れがこのような
形になっていったという見解もありま
す。そしてイスラエルの女性よりさらに
異邦の女性は虐げられていくのです。

コヘレトの見出したことは
コヘレトは二九節で結論を述べます。
コヘレトの見出したことです。人間と訳
されている言葉は「アダム」です。「神
が人間を正しく創られた」この言葉は私
いから・・・」最終的に日光に行く予定
のあった知り合いに線量を計測してきて
もらった。結果先の決断となった。今中
学二年の子どもの時も教育委員会とのや
り取りで疲れてしまった経験がある。「参
加・不参加はご家庭の自由です。しかし
福島でも日光でも地元の子どもたちが生
活しているのですよ。風評被害払拭のた
めにも林間学校は有用です。」という内
容の答に怒りがわいた。風評被害ではな
い。福島原発の事故は確実に子どもたち
の生きる権利を奪っている。安全な環境
で自由に遊び健康に発達する権利を阻害
している。あの日は何も解決してない
どころか、その深刻さを増していると思
じる。現実が重く、心にそして体にし
かかった夏休みの初めだった。（石倉）

まど
夏休みに入つてすぐ、小学六年
生の子どもの日光林間学校が開催
された。子どもたちは六年生だけ
が行けるこの林間学校を、とても
楽しみにしている。我が家の子どもも例
外ではなく、仲の良いお友だちと計画を
たてていた。しかし今回私とパートナー
は林間学校不参加という決断をした。
子どもにはとても申し訳なかったのだ
が・・・理由はやはり福島原発事故で
ある。あの事故により、ホットスポット
となつてしまったこの場所に、子どもを
行かせる勇氣は持てなかった。子どもに
私たちの決断を伝えた時、すぐには納得
してくれなかった。その気持はとても良
くわかった。「だって皆行くんだよ。マ
スクもはずさないし、寝転んだりもしな

理的状況だけでなく、振る舞いまでも
管理する律法や規則を強化するのです。
そんな中で女性は男性よりも劣り、不浄
であるとされていくのです。家父長制の
中、裏返せば女性への恐れがこのような
形になっていったという見解もありま
す。そしてイスラエルの女性よりさらに
異邦の女性は虐げられていくのです。

コヘレトの見出したことは
コヘレトは二九節で結論を述べます。
コヘレトの見出したことです。人間と訳
されている言葉は「アダム」です。「神
が人間を正しく創られた」この言葉は私
いから・・・」最終的に日光に行く予定
のあった知り合いに線量を計測してきて
もらった。結果先の決断となった。今中
学二年の子どもの時も教育委員会とのや
り取りで疲れてしまった経験がある。「参
加・不参加はご家庭の自由です。しかし
福島でも日光でも地元の子どもたちが生
活しているのですよ。風評被害払拭のた
めにも林間学校は有用です。」という内
容の答に怒りがわいた。風評被害ではな
い。福島原発の事故は確実に子どもたち
の生きる権利を奪っている。安全な環境
で自由に遊び健康に発達する権利を阻害
している。あの日は何も解決してない
どころか、その深刻さを増していると思
じる。現実が重く、心にそして体にし
かかった夏休みの初めだった。（石倉）

支援献金

ラクネット出版新刊案内

「兵士である前に人間であれ

—反基地・戦争責任・教会—

岩井 健作著

(¥1500 + 税)

お申し込みは <http://www.lainamerica-ch.net>

またはラクネット出版〒250-0117

神奈川県南足柄市塚原4919-141

編集後記

日本でも、小笠原公子さん・敦輔さん
は、いつ会っても若々しく、輝いていま
したが、ブラジルから一時帰国されたお二人
は、より一層楽しげで新生活を満喫してお
られるように感じました。ブラジルは治安
がよくないとのことで、その点は少し心配
ですが、いろいろと興味深い経験をされる
ことでしょう。ぜひ、またこうした機会に
お話いただきたいと思いました。（二元）